

○教職員 (61名)

職名	氏名	学級担当	教科	分掌担当	部活動担当
校長					
教頭					
事務長					
主幹教諭			理科		情報科学
教諭		1年1組	保健体育		剣道
教諭		1年2組	国語		テニス
教諭		1年3組	英語	1学年主任	情報科学
教諭		1年4組	国語	GIGA スクール推進教員	陸上長距離
教諭		1年5組	社会		バスケ
教諭		あおば1-1組	美術		美術
教諭			数学	教務主任	バスケ女子
教諭			保健体育	生徒指導主事	バレー女子
教諭			家庭	特別支援教育 Co	家庭科
講師			英語		陸上
講師			音楽		
教諭		2年1組	理科	研究主任	テニス男子
教諭		2年2組	国語		吹奏楽
教諭		2年3組	保健体育		バスケ男子
教諭		2年4組	技術		テニス女子
教諭		2年5組	英語		吹奏楽
教諭		2年6組	数学		卓球女子
教諭		あおば3組	英語		書道
教諭			音楽	2学年主任	吹奏楽
教諭			英語		家庭科
教諭			社会		サッカー
教諭		3年1組	社会	進路指導主事	陸上短距離
教諭		3年2組	社会		剣道
教諭		3年3組	理科		卓球男子
教諭		3年4組	保健体育		サッカー
教諭		3年5組	数学		野球
教諭		3年6組	英語	道徳教育推進教師	書道
教諭		あおば1-2組	理科		卓球
教諭		あおば2組	美術		美術
教諭			数学	3学年主任	野球
教諭			国語	学校図書館司書教諭	バレー女子
養護教諭			保健事務	保健主事	
養護教諭			保健事務		
教育支援員					
教育支援員					
教育補助員					
教育補助員					
教育補助員					
教科等指導支援					
非常勤講師			国語		
非常勤講師			数学		
非常勤講師			数学		
非常勤講師			理科		
非常勤講師			英語		
非常勤講師				日本語指導	
主事			事務		
SSS			事務		
学校司書				学校図書館	
部活動指導員					美術
ALT					
ALT					

職名	氏名	学級担当	教科	分掌担当	部活動担当
心のサポーター	灰山久美子			教育相談	
不登校等支援員	國崎 昌英			SSR担当	
初任者指導教員 不登校等支援員	中森 英雄			SSR担当	
SC	寺川 裕美			教育相談	
教諭(産休)	柳原 夏波		国語		
教諭(育休)	平木あいこ		理科		

○教職員数 (育休を含む)

職名	校長	教頭	事務長	主幹教諭	教諭	養護教諭	県費職員	日本語指導	ALT	SC	SSS	学校司書	市費職員	計
男	1			1	17		2		1				4	26
女		1	1		15	2	5	1	1	1	1	1	6	35
計	1	1	1	1	32	2	7	1	2	1	1	1	10	61

○生徒数

(令和6年4月1日現在)

学年	1年	2年	3年	知的	自閉症・情緒	難聴	計
学級数	5	6	6	2	1	1	21
生徒数							
男	94	110	115	11	4	2	336
女	95	102	118	2	2	0	319
計	189	212	233	13	6	2	655

○教育課程

(時間)

	国	社	数	理	音	美	保体	技家	外国語	道徳	特活	総合	計
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

○日課

朝読書	8:10～8:20
H R	8:20～8:30
1校時	8:35～9:25
2校時	9:35～10:25
3校時	10:35～11:25
4校時	11:35～12:25
給食	12:25～13:05
休憩	13:05～13:25
5校時	13:25～14:15
6校時	14:25～15:15
掃除	15:20～15:35
H R	15:40～16:00
部活集会	16:10～

○部活動

体育系	陸上(短距離・長距離) 野球 卓球(男子・女子) サッカー ソフトテニス(男子・女子) バレーボール(女子) バスケットボール(男子・女子) 剣道
文化系	吹奏楽 家庭科 書道 美術 情報科学

校歌

作詩 井野口慧子
作曲 岡田陽子

一ひより二歩から 遠くは世界へ
歩きたまう 今日こころ
まなしく熱く 夢を紡いで
心の伴 奏でていこう
とにもとにも 明日を信じ
中央中央 愛する母校
中央中央 恵みの大地

ニひより三歩から 限りなく宇宙へ
生きていこう あきらめを
まなしく高く 虹を紡いで
心の翼 銀えていこう
とにもとにも 歴史を創る
中央中央 われら故郷
中央中央 さらけく星座

令和6年度

学校要覧

校訓

和心 礼節 進取



東広島市立中央中学校

〒739-0044

広島県東広島市西条町下見 4281 番地 1

TEL (082) 431-5055 FAX (082) 431-5077

e-mail chuou-chu@city.higashiroshima.hiroshima.jp

URL http://www.city.higashiroshima.lg.jp/school/chuou_chu/

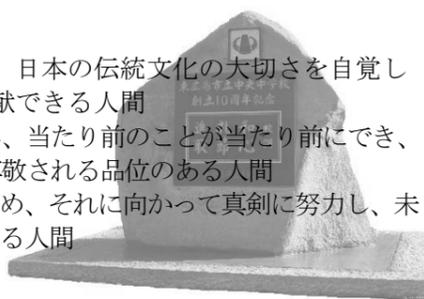


○本校の概要

本校は、東広島市の中央に位置し、東広島市立の中学校では14番目の中学校として、平成23年4月に開校した。通学区域は、寺西小学校・三ツ城小学校校区のすべてが通学区域となっている。

○校訓

- 「和心（わごころ）」和の心で人に接し、日本の伝統文化の大切さを自覚して、国際社会に貢献できる人間
- 「礼節（れいせつ）」礼儀と節度を重んじ、当たり前が当たり前で、社会の一員として尊敬される品位のある人間
- 「進取（しんしゅ）」自ら進んで目標を定め、それに向かって真剣に努力し、未来を切り開いていける人間



○校章



全員が力を合わせてすばらしい中学校にしていこうという思いが込められている。

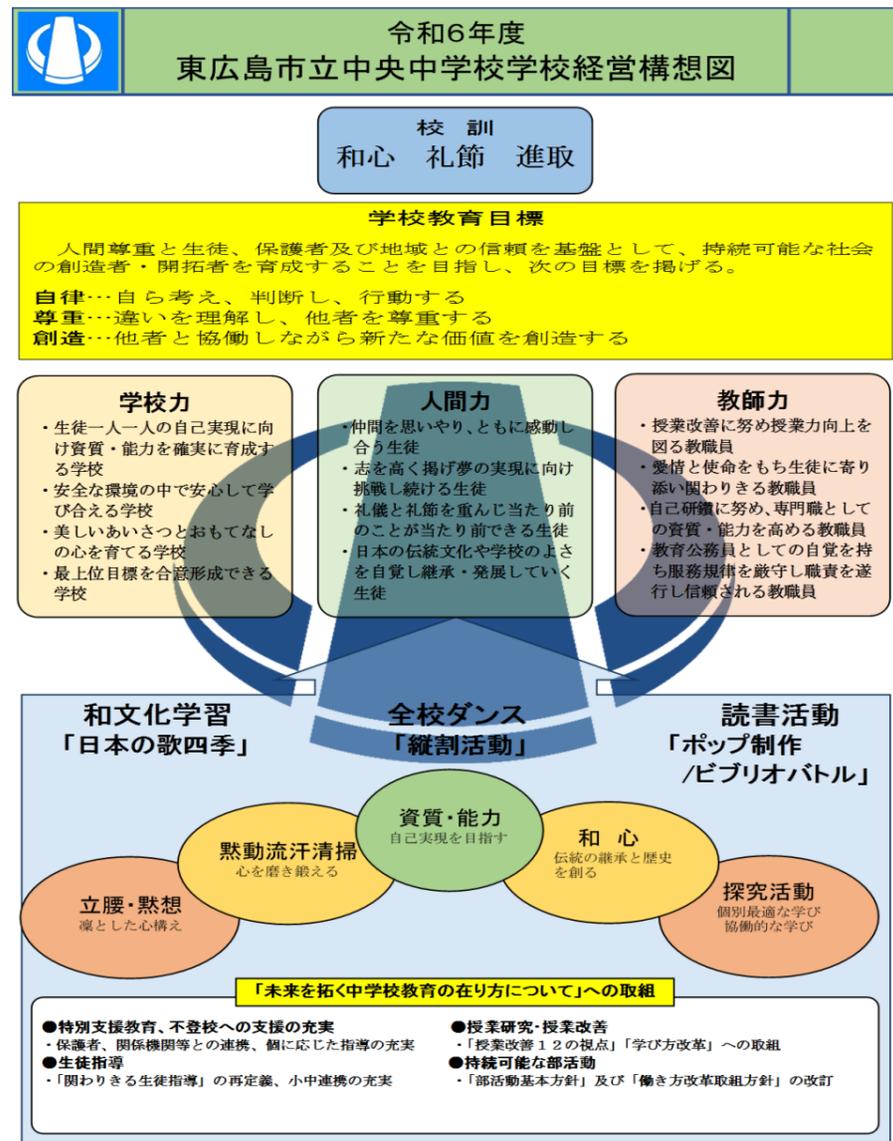
- ・真ん中の線は、生徒が力強くまっすぐに進む願い
- ・左右の「C」は中央中学校の「C」
- ・全体が中央中学校の「中」の字になる

○沿革

- 平成23年 4月 西条中学校から分離して設立。（開校時生徒数 494 名）
- 4月 開校記念式典を挙げる。
- 平成24年 11月 第22回東広島市生涯学習フェスティバルにて、3年生が「日本の歌『四季』」を披露。
- 平成25年 7月 第43回日本童謡賞贈呈式において、全校合唱「日本の歌『四季』」が日本童謡賞特別賞を受賞。
- 8月 ソフトテニス部が中国中学校選手権大会に出場。
- 平成26年 5月 東広島市制40周年記念式典において、3年生が「日本の歌『四季』」を披露。
- 8月 剣道部・卓球部が中国中学校選手権大会に出場。
- 平成28年 8月 ソフトテニス部が中国中学校選手権大会に出場。吹奏楽部が中国吹奏楽コンクールに出場し、銅賞を受賞。
- 10月 吹奏楽部が日本管楽合奏コンテスト全国大会に出場し、最優秀賞を受賞。
- 平成29年 8月 サッカー部が中国中学校選手権大会に出場。
- 11月 吹奏楽部が日本管楽合唱コンテスト全国大会に出場し、最優秀賞を受賞。
- 平成30年 2月 吹奏楽部が東広島市アザレア賞を受賞。
- 4月 日々の読書活動の推進に対して、子ども読書活動推進優秀実践校文部科学大臣賞を受賞。
- 7月 生徒会主催により、西日本豪雨災害義援金募金活動を行い、85,288 円を東広島市社会福祉協議会へ寄付。
- 8月 ソフトテニス部が中国中学校選手権大会に出場。吹奏楽部が中国吹奏楽コンクールに出場。
- 11月 吹奏楽部が日本管楽合奏コンテスト全国大会に出場し、最優秀賞を受賞。
- 令和元年 10月 和化学習として、講談の世界に触れる。
- 12月 吹奏楽部が全日本アンサンブルコンテスト中国大会に出場し、木管三重奏が金賞を受賞。
- 令和2年 7月 生徒会主催により、九州豪雨災害義援金活動を行い、29,833 円を東広島市社会福祉協議会へ寄付。
- 令和3年 2月 東広島市立中央中学校創立10周年記念碑の除幕式を挙げる。
- 令和3年 6月 創立10周年記念式典、記念講演を挙げる。
- 8月 陸上部が全日本中学校選手権大会に出場。
- 11月 東広島市教育推進指定校教育研究会を実施。
- 令和4年 2月 吹奏楽部が全日本アンサンブルコンテスト中国大会に出場し、金管七重奏が銀賞を受賞。

- 3月 令和3年度東広島市教育研究奨励賞を受賞。
- 令和4年 8月 陸上部が中国中学校選手権大会に出場。
- 令和5年 2月 美術部生徒が、東広島市アザレア賞を受賞。
- 8月 サッカー部・野球部が中国中学校選手権大会に出場。
- 令和6年 2月 吹奏楽部が全日本アンサンブルコンテスト中国大会に出場し、金管八重奏が金賞を受賞。

【学校経営構想図】



○研究テーマ

自己有用感を高め、主体的に学級や学校生活に参画する生徒の育成
～特別活動における SEL の取組を通して～

○研究について

令和5年度は、「主体的な学び」のある授業づくりについて、【単元を見通して学ぶ】【ICTを活用して学ぶ】【対話を通して学ぶ】【学びを深める】【学びを確かめる】【学びを振り返る】の「探究ループ」をデザインし、確立することを目指して取組を進めた。取組の結果、目指す生徒像に近づくことはできたが、自分の意見を積極的に発言している生徒の割合が低かったことや、発表する生

徒が決まっていることなどが課題として明らかになった。それらの課題から、これまで以上に生徒が安心して対話をしようとする態度の育成に力を入れたと考えた。

対話への積極性が課題に上がる背景として、今日生徒を取り巻く環境が、高度情報化社会の進展やグローバル化、AI 技術の発展など、複雑で予測困難な社会になっているからだと考えられる。また、新型コロナウイルス感染症対策の期間にマスクを着用しソーシャルディスタンスを確保することでコミュニケーションに必要な表情の読み取りや、対面での会話の場がこれまでよりも著しく減少したことが考えられる。これらの問題を解決するためには、他者との関わりを通して自己有用感を獲得させることが必要だと考える。自己有用感を獲得し、「自分でもできる」という自己への信頼感や自信がつくと、集団の一員としての社会性が身に付き、自分は価値ある人間だということを理解する「自尊感情」を高めることにもつながる。この予測不可能な現代社会を生き抜くためには、他者と協同し、自己の良さを自覚しながら自己実現を図り、社会へ参画しようとする態度を身につけることが求められている。

そこで、今年度は自己を価値あるものと受け入れる感覚を持つための手立てとして、自己への捉えと他者との関りを基礎とした、社会性と情動の学習 (SEL) を特別活動と関連付ける授業実践に取り組んでいく。それらを通して、学級をはじめ学校生活全体の中で自らの大切さや他の人の大切さが認められていることを生徒自身が実感できるような場面を意図的に設定していきたい。

以上のことから、特別活動における SEL の取組を通して、自己有用感を高め、主体的に学級や学校生活に参画する生徒の育成を目指し、研究主題に設定した。

【研究構想図】

